

京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム 2003（平成15年）度事業報告

巻頭言 「活動は活発になった。しかし、温暖化防止にはより一層の努力が必要だ」

京のアジェンダ21フォーラム代表 内藤 正明

フォーラム発足とともに代表の大役を仰せつかって6年。その間、フォーラムの活動は年々充実し、広がっていることを心からうれしく思っています。

パートナーシップでこれだけの組織が活発に動いていることが今、全国から注目されています。この5月に(財)京都オムロン地域協力基金より「第15回 ヒューマンかざぐるま賞」を受賞したことも、「持続可能な京都づくり」を目指すフォーラムのパートナーシップ型活動が評価されていることの表れです。

しかし、このまま順風満帆で京都が「世界に冠たる地球にやさしいまち」になるかという、そう簡単ではありません。日本政府は、日本が京都議定書を守ることができないと宣言しており、ここまで活動を続けてきた京都市も、議定書に関しては決して楽観的でない状況にあります。これだけ努力し、苦勞をしているにも関わらず、地球温暖化防止、つまり議定書を守るということは難しい課題です。

一方、ヨーロッパではデータを見る限り、着実に議定書の目標に近づいています。またEU主要国は最近、30%から80%といった二酸化炭素排出削減目標さえ掲げました。この差が何なのかといった点も含めて、我々もこれからの活動をもう一度考え直し、なお一層のレベルアップを目指す時点にきていると思われま。日本全体としては可能性が小さくとも、せめて京都は何とか議定書の目標に到達するように、皆さんとともに一層努力を重ねていきたいと心から願います。京都市温暖化対策条例(仮称)も制定に向けて進む中、法的な裏付けを得ることでフォーラムの活動が、より実効あるものになることを期待しつつ、新しい年度の活動をご一緒にがんばりたいと思います。よろしくお願いたします。(平成16年度総会挨拶)



1 事業報告

(1) 情報収集・提供

ア ニュースレター「あじえんだ」を発行

フォーラムの活動方針、活動報告や他地域の事例等を掲載している機関誌「あじえんだ」(季刊)第15号から第18号までを発行し、会員に送付するとともに、区役所等に設置するなど広く市民に配布しました。(各3,500部～4,000部)

イ 事務局通信「月刊あじえんだ」を発行

フォーラムの活動予定や会員の行事案内等を掲載している事務局通信「月刊あじえんだ」を毎月発行し、会員に送付しました。また、「あじえんだ」や「月刊あじえんだ」に同封して、会員の行事案内等を送付しました。

ウ ホームページを整備・運用

京のアジェンダ21の内容やフォーラムの活動予定等の情報を発信するホームページの整備を進めました。

(URL: <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>)

また、KES認証事業部のホームページに、認証取得事業所のリストやグリーン調達基準採用企業情報等を掲載しました。

(URL: <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/>)

エ メールングリスト・メールニュースを運用・整備

広く会員外にも情報を伝えるメールニュース「週刊あじえんだ」を発行し、ホームページからも登録できるようにしました。また、会員間の情報交換等を行うメールングリストのあり方の検討を進め、ワーキンググループ(以下「WG」という。)ごと等のメールングリストの開設を始めました。

オ 入会パンフレット「参加の手引き」を発行

より多くの方々にフォーラムの主旨や活動について知っていただき、参加を呼びかけるため、フォーラムの活動をわかりやすく紹介した「参加の手引き」を発行しました。

カ パネル展示等

第2回京都まちづくり交流博等の行事でパネル展示を行いました。また、京エコロジーセンターの2階展示コーナーにもえこまつりWGのリターンブルシステムの展示を行っています。

キ 平成14年度事業報告書を作成

平成14年度の活動状況等をまとめた報告書を作成し、配布しました。

ク イベント情報の統合

フォーラム会員主催等の月刊イベント情報「京

都の環境イベント情報」を、2004年2月より京エコロジーセンター、京都市ごみ減量推進会議のイベント情報と統合し、『京都環境イベントカレンダー』として発行を開始しました(レイアウトは京エコロジーセンターが担当)。

(2)WG活動

ア ライフスタイルWG

<コミュニティのアジェンダ21タスク>

・ 醍醐をモデル地域として実践活動を開始し、地域グループと環境NPOとの連携のもと、連続学習会を開催しました。

<省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーンタスク>

- ・ 省エネ家電製品の購入を促進する府内169店舗の家電販売店と協働して、省エネ性能を表示する環境ラベルの社会実験「京都 省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン」を昨年に引き続いて実施しました。
- ・ 同キャンペーンでは、当フォーラムが事務局となり、市民、事業者、行政が参画する実行委員会を設けてパートナーシップ体制をつくりました。
- ・ 消費者向けの研修会も開催しました。

イ 企業活動WG・KES認証事業部

- ・ KES認証事業を推進し、平成15年度はステップ1が63社、ステップ2が38社、学校版が3校の計104件を新たに認証し、平成15年3月末までの認証取得数は300件となりました。
- ・ KES認証取得企業による試行を経て、KESステップ1取得事業所向け環境報告書「かんきょうレポート」のひな形を作成しました。
- ・ KES取得企業のネットワークによる「KES倶楽部」が開催する研修会や電子メール・FAXで毎月発行する「KES倶楽部通信」の作成に協力しました。
- ・ 京都市以外の他地域等の団体への協力を通じて、地方のKES協働審査登録体制を構築し、5組織で9件の認証をしました。

ウ エコツーリズムWG

- ・ 観光関連施設のエコロジー化の取組として、KESと連携し、「環境にやさしい旅館・ホテル」試行事業の実施をしました。

エ 環境にやさしい交通体系の創出WG

- ・ 2カ年にわたって実現への支援を進めてきた「醍醐コミュニティバス」が運行を開始し、住民自らが公共交通サービスを創出するという新しいモデルづくりを平成16年2月に実現しました。
- ・ 交通に関する情報伝達や啓発として、「かたつむり大作戦」でのラジオ放送、自転車トーク番組の制作にも関与しました。
- ・ 三条通、嵐山等の交通社会実験に参画・協力

しました。

- ・ 京エコロジーセンターの総合学習支援事業(府立洛水高校)に参加しました。

オ エコミュージアムWG

- ・ 大原野森林公園運営管理協会メンバーへの研修会と「緑の講演会」を企画し、実施の協力をしました。
- ・ また、同協会と里山教室の開催に向けた検討をする中で、同協会が主体となって実施する炭焼きに協力をしました。

カ 食の循環WG

- ・ 京エコロジーセンター社会実験支援事業として、小学校区レベル(葵、御室地域)での地域循環のモデルづくりを目指して社会実験を実施しました。
- ・ 同事業では、生ごみ分別回収の実践を実証し、その回収した生ごみを府立大学で堆肥にするだけでなく、同大学でそれを利用した農園づくりにも取り組みました。
- ・ また、堆肥化学習会を実施し、堆肥化のマニュアルを作成しました。
- ・ 京都内外で堆肥化に取り組む人の交流会も開催しました。

キ えこまつりWG

- ・ 祇園祭りをはじめとする市内等10箇所でお祭り・イベントの環境対策の実施を支援しました。
- ・ また、京エコロジーセンター社会実験支援事業として、支援したお祭り・イベント主催者の交流会を開催し、これまでの支援実施事例をもとに、お祭り・イベントでの環境対策導入ガイドの冊子を作成しました。
- ・ 環境省の平成15年度循環型社会形成実証事業として、イベントでの洗浄機を利用したリユース容器の実験データをもとにした環境負荷計算、リユース容器の試作、食器洗浄搭載車の設計などを行いました。

ク 自然エネルギーWG

- ・ 京エコロジーセンター社会実験支援事業として、KES認証取得企業を対象としたアンケート及びヒアリング調査を実施し、自然エネルギーやグリーン電力の認知度等の現状把握と課題の明確化をしました。

(3)プロジェクトチーム活動

- ・ 「京都市地球温暖化条例(仮称)」の策定過程で幅広い市民参加を進め、実効性のある条例策定に貢献し、その後の推進における市民、事業者、行政等の協働を促進することも目指し、「地球温暖化防止条例プロジェクトチーム」を設置しました。

- ・京都市及び京都市環境審議会に対して、この設立趣旨を踏まえた申入れを行い、市民、行政、審議会との対話などを行いました。
- ・各WGを中心に住宅、交通、企業、エネルギー、観光の5つのテーマ部会を開催、部会からの提案をとりまとめ、オープンフォーラムを開催し、地球温暖化防止条例協働提案の素案を作成・発表しました。

(4) 交流・共催事業

ア 会員交流会

- ・総会においては、各WGから、これまでの事業報告や今後の事業計画について映像を活用して提案するなど、今後の活動に向けて連携や交流による相乗効果が期待できる初めての試みを実施しました。
- ・また、総会の休憩時間を利用してお茶・コーヒーのサービスやお菓子を提供して、会員間の交流を深めました。

イ 共催事業等

- ・共催事業 3件
- ・協力出展等 11件
- ・後援事業 12件
- ・委員就任 3件
- ・講師派遣 5件

(5) キャンペーン活動

- ・京都議定書応援団・ストップザ温暖化キャンペーンを実施しています。

(6) 研修

- ・大学コンソーシアム京都と連携して講座を開講しました。

(7) 調査研究

- ・京エコロジーセンターの調査研究事業を協力して実施しました。
- ・WG活動等に伴って各種調査を実施しました。

2 会議の開催

(1) 運営体制

6月28日の総会において「会計」職を廃止し、その代わりに監査機能を充実するよう規約改正し、役員改選がなされました。

(2) 会議の開催実績

- ・総会(6月28日)
- ・幹事会(4回)
- ・常任幹事会(3回):
- ・WG間の緊密な関係を築き、情報を共有することで、具体的な活動における連携を進めるため、コーディネーター会議を開催しました。(1回)なお、WGコーディネーターは常任幹事会にも出席することとなりました。

- ・WG等の会議を随時開催しました。

3 会員

- ・平成16年3月末日現在の会員数

| | |
|------|-----|
| 個人会員 | 203 |
| 団体会員 | 259 |
| 合計 | 462 |

4 事務局

(1) 組織の整備・強化等

- ・常勤コーディネーター1名、常勤スタッフ2名、広報担当リーダー1名、KES認証事業部は事務局長1名、常勤スタッフ1名の体制に増強しました。
- ・随時インターン生を受け入れ。

(2) 中間支援(インターメディアリー)業務

- ・複数の会員、グループや機関の参画する実行委員会もしくは会員となっている地域協働型組織が主体となって実施する環境社会実験や環境コミュニティ事業に関して、事務局スタッフが以下の支援協力コーディネート業務に携わりました。
- ・「京都 省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン実行委員会」の事務局
- ・醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会(醍醐地域の自治町内会及び地域女性会他で構成)が事業化を進めている醍醐コミュニティバスの運行計画策定及びPI(住民参加)の取組の支援コーディネート業務

(3) 所在地

事務局

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

京都市環境局環境政策部地球環境政策課内

TEL: 075-222-4037

FAX: 075-222-4039

事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター内

TEL: 075-647-3535

FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>

KES認証事業部

〒615-0801

京都市右京区西京極豆田町2

京都工業会館内

TEL/FAX: 075-323-6686

E-mail: kesma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/>

5 役員名簿

(平成16年3月末日現在)

[代表]

内藤 正明 京都大学大学名誉教授・特定非営利活動法人循環共生社会システム研究所代表理事

[幹事長]

小幡 範雄 立命館大学政策科学部 教授

[幹事長代理]

枚本 育生 特定非営利活動法人環境市民 代表理事

[常任幹事]

浅岡 美恵 弁護士
阿蘇 紀夫 財団法人京都市環境事業協会 京エコロジーセンター事業長
上原 任 京都市 環境局長
大瀬 潤三 社団法人京都工業会 環境委員長代行
小堀 脩 京都商工会議所 専務理事
笹谷 康之 立命館大学理工学部土木工学科 助教授
田浦 健朗 特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長
中川 恵美子 京都市地域女性連合会 常任委員
中川 大 京都大学大学院工学研究科 助教授
山内 寛 京都市保健協議会連合会 会長

[幹事]

石谷 彰男 環境クラブ京都 代表
大川 昭 社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長代理
岡本 正 社団法人京都青年会議所 副理事長
海堀 安喜 京都市 都市計画局長
佐合 真 株式会社京都放送 企画推進担当局長
島田與三右衛門 京都市 産業観光局長
田中 雅郎 株式会社京都新聞社 社会報道部遊軍担当部長
南北 幸雄 京都府中小企業団体中央会 専務理事
西村 清司 京都商店連盟 事務局長
西村 仁志 環境共育事務所カラーズ 代表
本部 正一 社団法人京都市観光協会 事務局長
三品 廣実 京都府企画環境部 環境政策監
水野 篤夫 財団法人京都ユースホステル協会 統括部長
文字 英夫 社団法人京都ボランティア協会 理事

[監事]

幸前 清孝 環境クラブ京都 副会長
原 強 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長

京のアジェンダ21フォーラム 2003(平成15)年度事業報告

平成16年8月発行

発行者 京のアジェンダ21フォーラム

<事務局>

〒604-8571 京都市環境局環境政策部
地球環境政策課内

TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

<事務所>

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内

TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/>